

「南っ子スタンダード」の定着 ～当たり前のことを当たり前に出来る子どもに～

チーム南長崎

すべての子どもを「チーム南長崎」
(学校・家庭・地域)で
南長崎小すべての教職員が
総がかりで育てる

学力調査より

国語 漢字を正しく使うことやなどの基礎的・基本的な力が十分でない。
文章の構成を意識して書くことに課題がある。
算数 図形の領域に対する苦手意識がある。
図や式や言葉を用いてわけを説明することに課題がある。

学習状況調査より

学校外での学習時間の少ないなど、家庭学習の定着に課題がある。
学習した内容について、分かった点や、良く分からなかった点を見直し、
次の学習につなげるなどの主体的な学習の調整に課題がある。

【長崎市第5次総合計画】

「長崎のまちを愛し、新たな時代を生
き抜く子どもを育みます」

【長崎市教育振興計画】

G1-1 確かな学力の向上を図ります
G1-2 健やかな心と体を育成します
G1-3 家庭・学校・地域の連携による
教育の充実を図ります
G1-4 安全・安心に学べる教育環境
を整備します

めざす「南っ子の姿」:【 深く考え 工夫する子ども 】
○自分の課題を持ち、意欲的に学ぶことができる子ども(確かな学力の向上を図る G1-1)

↓「南っ子スタンダード」

- ①基礎基本を確実に身に付けさせ、学力の向上を図る。(学期末の評価テストで学級平均85%以上の得点をめざす)
- ②全ての子どもにとって分かる授業の実践。(学校評価の「わかりやすい授業を行っている」の項目の達成率が児童・保護者ともに95%以上をめざす)
- ③家庭学習の習慣化(学校評価の「家庭学習の習慣が身に付いている」の達成率が児童95%・保護者90%以上をめざす)

学習意欲の向上

○分かる授業の展開
○ICTを活用した授業(ICT教材の活用)
○賞賛と励ましによるモチベーションアップ(言葉・ノートなど)
○評価を意欲につなげるコメント(フィードバック)の工夫
○始業時間厳守
○ペア・グループ・全体による学び合い・交流

論理的思考力・
表現力の育成

○各教科における言語活動の充実
○ノート指導(見直しができるノートづくり)
○教育活動全般における言語活動の充実
○読書活動の充実(年間貸出冊数1人50～100冊)

基礎基本の徹底

○読み書き計算の徹底定着
○個別指導の充実
○家庭学習の徹底(家庭学習の手引き・自主学習の手引き)
○確認テストの継続と補習
○算数科における図の系統的な指導
○AIDリル(キュービナ)の活用

校内研究の充実

○子どもから問いが生まれる導入場面の工夫
○課題解決における対話場面の工夫
○自分の学びを見つめる振り返り場面の充実
○主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
○一人一研究授業の実施

指導体制の充実

○個に応じた指導の充実
○チーム(低・中・高学年部会)の支援・協力(協働による教材研究・授業計画)
○チームティーチング
○ICTを活用した個別最適な学びと協同的な学びの一体化
○全校統一してAIDリルを週に1度以上は活用する。
○高学年は、授業中や家庭学習で毎日活用する。

教師の指導力向上

○あじさいスタンダードを取り入れた授業改善
○板書の充実(学びの流れがわかる板書)
○研修会への参加
○研修報告による全職員へのフィードバック
○現職教育の充実
○職員のICT活用能力の向上

学校 ～「南っ子のスタンダード」の徹底・定着～

◎当たり前のことを当たり前にできる子どもに。
○持ち物 ○整頓 ○着席 ○あいさつ ○返事 ○姿勢○話し方
○聴き方 ○仕事 ○掃除 ○集合 ○家庭学習 等を全校で
そろえ、徹底し定着させる。

家庭 ～家庭が基本～

○基本的生活習慣の確立(早寝・早起き・朝ごはん)
○家庭学習の習慣化(家庭学習の手引き 低・中・高)
○メディアとのつきあい方(ノーメディアデーの実施)
○親子読書・家庭読書の推進
○家庭での仕事分担(手伝い)
○あはは運動の推進
○あいさつの励行

地域 ～いつでもどこでも笑顔で挨拶～

○学校だよりやホームページなどで学校や子どもの様子をよく伝える。
○地域行事への積極的な参加
○幼保小連携・小中連携
○ダイヤランドまちづくり協議会・子どもを守るネットワーク・育成協との連携

やる気・やさしさ・根気強さのある子どもの育成